摂南大学　神河町議会との連携事例

自治体の課題（ニーズ）

＜神河町内の課題＞
- 少子高齢化
- コミュニティバスの減便
- 夜はコミュニティバス、タクシーの運行なし
- 町内全域を効率的に運行することが困難な地形



兵庫県中央部に位置する県内で最も人口が少ない神河町では、少子高齢化が進み、様々な課題を抱える中で、特に町内を運行するコミュニティバスを中心に公共交通の再構築が喫緊の課題となっている。

公共交通に関する課題に対して、行政での検討と並行して議会からも政策提言を行うため、他の自治体での先行事例調査や議員同士での議論を行っていたが、体系的に議論を行うためには専門家の知見も必要と判断に至った。昨今、公共交通に関する課題解決に向けてライドシェアの活用が期待されているが、ライドシェアについては法改正や解釈変更が度々なされ、その全てを把握した上でライドシェアの活用案を検討することも大きな負担であった。

研究成果（シーズ）の還元

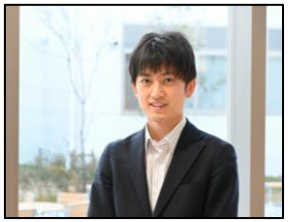
＜取り組み内容＞
- 町内公共交通の運行実態調査
- 公共交通に関する制度概要等の説明
- 他地域での公共交通に関する先進事例の紹介
- 公共交通再編案の提案



地域公共交通に関する研究を行う研究者を有する本学に対して、公共交通に関する制度や現状などについての助言や指導について協力依頼があった。そこで、ドライブレコーダーやカメラで撮影された動画像データを道路空間の基盤となる情報の整備に活用するための研究や、地方部の公共交通に関する課題解決を目的とした研究の知見を活かし、複数回にわたり議会内の産業建設常任委員会に助言を行い、制度等に関する不明点を解消した。併せて、バスやタクシーの運行事業者や町内関係者にヒアリングを行い、その結果の報告や、神河町の実態にマッチした視察先の提案を行った。

結果、本学からの助言を基に、議会は「住民福祉の向上と、実態に即した公共交通の在り方」について政策提言を行った。

■　この連携に携わった研究者



理工学部
久保田　誠也　講師

（研究者からのメッセージ）

神河町は、複数の谷が交わる場所に中心市街地が形成されているため、公共交通の効率的な運行が難しいという地形的特徴もあります。少子高齢化が進む中山間地域では、営利を目的としたライドシェアに対しては過度な期待はできないので、公共ライドシェアの活用も含め、多くの住民の方の理解と協力がより一層重要になると考えられます。

※　研究者の経歴等は（URL：https://researchmap.jp/kubota_seiya）をご参照下さい。